

3. 北関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向 関連 (北関東)		コンビニ（経営者）	お客様の様子	・気温が高くなってきているので、客は来店している。
		都市型ホテル（営業）	来客数の動き	・今月も引き続き、宴会は好調で売上目標を達成している。また、宿泊も、高校女子のサッカー大会があり、当市を中心に約1,000名、4日間の宿泊があり、好調に推移している。
		商店街（代表者）	単価の動き	・今年度末は、来客数が落ち込んだものの、客単価は前年よりかなり良く推移している。
		商店街（代表者）	販売量の動き	・当店は学校販売を主力にやっている。世間では景気が悪いとか良いとか言っているが、子どものためだからか、注文数は前年並みでほとんど減っていない。子どもの教育のためには、親たちは金をかける。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・春になり、もう少し売上などが伸びるはずだが、近くに競合店が出店したため、いまだ停滞している。
		コンビニ（経営者）	それ以外	・全体的な景気は変わらないが、都内など中心部の景気等に引きずられて、少しは良くなっているのではないかと推測する。
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・販売量は前年比102%と微増で推移している。前年より寒い日があり、もう少し来客数が伸びると期待していたが悪かったようである。また、人件費等の経費が増加しているため、収益はなかなか伸びていない。
		乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・製造業の仕事量は以前に比べて増えているようで、商談数が増えている。
		自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・今月は販売量が良かったうえに、客の出入りもやや多かったようである。ただし、客からスーパーなどはあまり良くなく、単価が若干下がっているという情報を聞いている。当社も単価については厳しく、やや動いているのは単価の安い車である。例年に比べて消費の盛り上がりがない。
		その他小売 [ショッピングセンター]（統括）	販売量の動き	・不調であった物販業種の改善がみられる。ただし、アパレルはレディース衣料の厳しさは変わらない。月中盤以降は気温が低い日が多く不調要因となっている。食品、飲食は来客数に比例して伸びており、シネマ、アミューズメントなど、物販以外の好調ぶりにも支えられている。全体として、ひな祭り、ホワイトデー、春休みなど行事関連の需要は前年を上回ることができている。
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・3～4月は特に歓送迎会等の大口宴会があるので、若干売上は増加している。
		一般レストラン（経営者）	販売量の動き	・2月は売上が前年同期を下回ったものの、3月は超えている。レストランは来客数、客単価共伸びている。宴会予約も前年同期より多く、謝年会、同窓会、法事などで宴会場のやりくりで苦労するほどである。葬祭を中心にしたケータリングも売上が伸びている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・宴会予約は前年並みだが、フリー客がかなり多くなってきたり、売上も伸びている。明らかに上向ってきている。
		旅行代理店（経営者）	単価の動き	・旅行商品の単価が上昇してきている。
		旅行代理店（所長）	来客数の動き	・来月から始まる大型観光キャンペーンにより、各地に観光媒体が展開されていることや、さまざまな観光素材の発掘、掘り起こしにより新しいプランができている。また、地元神社の修繕が完了して公開されることも、良い要因となっている。
		タクシー運転手	お客様の様子	・今月は送別会の時期で、週末は多少利用客があったものの、客からはタクシー代が高いという声を多く聞いた。今まであまり利用していない方が利用しているような気がする。5千円前後の利用でも、今後タクシーは乗れないと言っている。
	通信会社（営業担当）	それ以外	・内部留保抑制効果なのか、従業員への還元等を行う形が出てきている。	
	ゴルフ場（経営者）	販売量の動き	・ゴルフ会員権の流動性が高まっている。	
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・上旬から中旬にかけては好調な予約があったものの、下旬に異常なほどの数回にわたる降雪で、クローズが続いた。その結果、4～5月の予約状況もあまり良くない。	

	その他サービス 〔葬祭業〕（経営者）	お客様の様子	・墓じまいや共同合葬墓の問い合わせや依頼が増えている。
	その他サービス 〔自動車整備業〕（経営者）	来客数の動き	・自動車整備は、車検対象台数の拡大で今月に入り来客数が伸びている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・寒い日が多いせいか、年度末というのにかばん類が例年より売れない。学生用かばんの指定品や他の定数の決まった物は売上で70%程度である。ほとんどの物をお下がりで済ましてしまう子ども達が多く、閉口している。
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	お客様の様子	・今月は新旧入替えの多い月で、お彼岸の月でもあるが、月末になっても、寒い日が続いているため、人は動かない。道路が開通したが、一般の人にはあまり関係ない。
	一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・新入学、新生活の季節ではあるが、これといって売上に影響はない。液晶テレビの買換えが徐々に出てきているが、修理費用が高額なため、必要に迫られての選択である。相変わらず消費に動きはみえてこない。
	一般小売店〔青果〕（店長）	お客様の様子	・高い物は買わない。必要最低の物しか買わないという傾向が続いている。
	百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・化粧品や雑貨、食品物産展など好調な商品群もあるが、依然として婦人服は低調に推移しており、厳しい状況に変わりはない。
	百貨店（店長）	来客数の動き	・来客数が減っている。
	百貨店（副店長）	来客数の動き	・3月は販促策を重点的に強化し、新規催事を開催するなどしている。来客数は増えたものの、売上は想定に届かず苦戦を強いられている。衣料品も全体では、一時のどん底から少し回復基調にあるが、今月の勝敗を分けるスーツの新規客が取り込めていないのが悩みの種である。
	スーパー（経営者）	来客数の動き	・個人消費に大きな変化はない。
	スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数が前年に比べて増えてこない。売上も厳しい状況にある。食品の売上が前年を割っている状況のため、上がってくるきっかけがなかなか見つからない。
	スーパー（統括）	販売量の動き	・客1人当たりの買上点数は減少傾向にある。有職主婦の構成比が60%を超えてきたためか、手作り志向派の減少が顕著で、材料系の買上点数は落ち込む一方、簡便系商材は上がってきている。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・車検や一般修理の入庫は前年同月上回るが、車両販売は、需要月であるのに販売台数が低迷している。
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・3月後半は受注が鈍る。
	乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・この数か月、極端な景気の変化はない。新車販売は軽自動車や大衆車が横ばいで、商用車はかなり少ない。整備の売上は、期末ということもあり忙しいが、ほぼ例年並みである。景気の良さを実感できないのが辛い。
	乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・自動車販売は年度末の繁忙期でもあり、例年と変わらない。
	住関連専門店（経営者）	単価の動き	・買上単価、客単価は微増傾向だが、店舗全体の売上はほぼ前年並みである。客の財布のひもは依然として固く、景気への警戒感があるため、必要な物以外の商品は購入しない。
	住関連専門店（仕入担当）	単価の動き	・消耗品の価格重視は継続し、情緒的な商品への投資は惜しまないという傾向は続いている。購買単価は二極化の平均値で推移している。
	一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・同業者から話を聞いても、「ディナー客が非常に少なく、客単価もあまり上がらない。むしろ下がっている」ということである。
	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・20日までは天候もまあまあで出足は良かったものの、下旬に入って来客数が減少している。給料日後の月末までに期待するのみである。
	スナック（経営者）	お客様の様子	・競争相手の様子も気になっている。あっという間の1月であるが、消費は欠けており、この地方も悪化している。
	都市型ホテル（営業担当）	販売量の動き	・今月の状況は、例年どおりと感じている。特に需要が大きく増えていることもなく、本当に悪いということもない。

都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・インバウンドのキャンセルが多発したため、前年を下回ってしまっているが、個人予約は伸びている。
旅行代理店(従業員)	お客様の様子	・来客数が伸びてこない。
旅行代理店(副支店長)	お客様の様子	・国内旅行では春休み等もあるため、動きは出てきてはいる。ただし、日帰りや短期旅行の受注や相談が多く、2泊以上となると相談や受注は少ない。また、海外旅行は相変わらず動きが鈍く、海外出張も減っている。
タクシー運転手	単価の動き	・タクシー業界は交通機関がまひしたとか、天候の状況によって大分変わってくる。
タクシー(経営者)	お客様の様子	・昼の客の動きが良かったので、前年同月と比べて6%の増収である。
タクシー(役員)	お客様の様子	・ドライバーの高齢化と人手不足である。
通信会社(経営者)	お客様の様子	・高齢者世帯の保留や解約が増えてきている。
通信会社(経営者)	販売量の動き	・販売量の増減なく、横ばいである。
通信会社(店長)	販売量の動き	・前年同月と比べ1割下落している。
通信会社(局長)	お客様の様子	・あまり大きな変化はない。継続はするが、安くしたいという要望を客から聞くので、景気回復はまだ道半ばと感じる。
テーマパーク(職員)	来客数の動き	・降雪は少なかったが、思ったほどには来客数が伸びない。
観光名所(職員)	来客数の動き	・今冬のスキーシーズンは前半雪不足に悩まされたが、遅めの積雪で安定した入込客である。ただし、好況にシフトしているとは言いがたい。
美容室(経営者)	来客数の動き	・春のイベントである卒業式等は、1年で1番おしゃれをする月であるが、来客数が前年同期よりも減少している。
その他サービス[立体駐車場](従業員)	お客様の様子	・期末や春の売り出し等、例年と同じような動きである。3か月前と比べても販売量、来客数共に横ばいで変わらない。
その他サービス[イベント企画](職員)	お客様の様子	・県内では回復に向けた動きがあるようだが、具体的な動きはみられない。
設計事務所(経営者)	来客数の動き	・相変わらず、仕事の依頼数は少ない状況が続いている。
設計事務所(所長)	お客様の様子	・各商工業団体の集まりでも、景気の良い話を聞かない。
住宅販売会社(従業員)	お客様の様子	・別荘購入に関する問い合わせが減少している。
住宅販売会社(経営者)	販売量の動き	・売りたい客は増加してきているが、買い手の動きはまだまだ鈍い。本格的な好景気感にはほど遠い。
住宅販売会社(経営者)	お客様の様子	・やはり年度末のせい、4月オープンとか4月から移転をしたいという客からの貸店舗、貸事務所等の引き合いと、問い合わせがかなり増えている。特に店舗関係が若干優勢である。
商店街(代表者)	来客数の動き	・天候の影響もあると思うが、春物の動きが全くなく、当店の客でさえ来店がまばらになってしまっている。
一般小売店[衣料](経営者)	販売量の動き	・学生服販売なので、今月は新学期準備で客は来て、売上は多少上がっている。ただし、高校の入学者が少ないことや、身の回りでも子供が入学するという人は少なく、いろいろ考えると、これから良くなるとは言えない。
一般小売店[家電](経営者)	販売量の動き	・客の動きが悪いうえに、支出に対してシビアになっている。
百貨店(営業担当)	販売量の動き	・衣料品を中心に、悪い状況が続いている一方で、食品や寝具、インテリアなどの住関連は堅調である。トータルでは3か月前よりやや悪くなっている。
スーパー(商品部担当)	お客様の様子	・季節や期の変わる時期は、集客目的で競合店との価格競争など単価が下落傾向となるが、例年以上に客は必要な物以外の購買はしない。
コンビニ(経営者)	販売量の動き	・3か月前の年末年始は、商品単価の高い商材が多かったため、客の買い方が今とは違っている。
コンビニ(経営者)	来客数の動き	・周りの景気が悪い。

	コンビニ（店長）	来客数の動き	・前年同月比で客単価は若干上がっているものの、来客数が多少減っており、こここのところあまり良くない。
	乗用車販売店（販売担当）	販売量の動き	・毎年3月は決算の会社もあるし、卒業、入学、入社といったことで、車の動きも毎年それなりにあったが、今月は自動車販売の動きが全くない。極端に言うところの半分以上の販売量になっているので、とにかく厳しい状況である。
	自動車備品販売店（経営者）	来客数の動き	・過当競争になってきている。大手企業の川上での囲い込みが激しい。
	その他専門店〔燃料〕（従業員）	販売量の動き	・販売量は減少している。前年と比べても減少傾向である。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・今月の異常な寒さの影響か、売上の良い日、悪い日が極端である。また、悪い日の割合が高い。
	観光型旅館（経営者）	販売量の動き	・3か月前は企業業績が良かったのか、前年よりも忘年会の需要が多く、売上はやや良かった。3月になり売上は前年並みに戻っているため、やや悪くなっている。
	ゴルフ練習場（経営者）	来客数の動き	・販売価格によって来客数が敏感に反応している。
	ゴルフ場（総務部長）	来客数の動き	・3～4月の入場者数の状況は、前年同時期を下回っていることから、やや悪くなっている。
	競輪場（職員）	お客様の様子	・購買単価、入場者数共、少しずつ減少し始めている。
	設計事務所（所長）	来客数の動き	・例年、年度末で新たな動きは少ない。それにしても情報がない。
	× 商店街（代表者）	お客様の様子	・前年の大河ドラマ景気とは比べようもないほど悪いが、一昨年と比べると善戦している。
	× 衣料品専門店（販売担当）	来客数の動き	・今まで経験してきたなかで最悪の3月といってもよいほど、本当に打つ手がなく悪い。何と言ってもよいかわからないほどである。
	× 家電量販店（店長）	販売量の動き	・基幹商品であるテレビ、パソコン、冷蔵庫、エアコン類の数量、金額が前年比3～5%のマイナスで締められている。今まで好調な動きをしていた小型家電品が伸び悩んで、前年割れになっている。
	× 通信会社（経営者）	販売量の動き	・過去最低売上の年度末に、東日本大震災時に1年ほど納入保留になっていた雇用保険や消費税の最終取り立てが重なり、最悪である。このままでは差し押さえ処分である。
	× 美容室（経営者）	来客数の動き	・悪かった2月を引きずり、今月は景気の下振れ懸念が出てきている。来店サイクルが男女共に延びている。
企業 動向 関連 (北関東)	輸送用機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・北米向け輸出の増加で良くなっている。
	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・今月は環境装置受注や完成納品が増加している。
	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・月初に、今月は悪いかなどと思っていると、仕事がパタパタと入り、月末には何とか平均以上となっている。
	一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建設機械関連を中心に、じわじわと増産の動きが広がりつつある。また、業種を問わず、新規案件の引き合いが確実に増加している。
	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・前年に比べて、受注量はかなり多い。
	金融業（経営企画担当）	取引先の様子	・海外の景気動向が良くなってきていることに加え、国内の季節的要因もあり、景気は徐々にではあるが、良くなってきている。
	広告代理店（営業担当）	受注量や販売量の動き	・年度末の広告予算削減が、ほとんどない。
	食料品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・現状維持である。
	食料品製造業（営業統括）	受注量や販売量の動き	・来園者は平年より多く、工場見学者も増加している。また、売店での上額も、前年を10%程度上回っている。
	化学工業（経営者）	受注価格や販売価格の動き	・当社主力商品は決算時期になると受注、出荷共に増加傾向になることが多いものの、現状はあまり芳しくなく、やや悪くなっている。

	窯業・土石製品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・年度末で多少動きが出ている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ここにきて、リン青銅という材料が足りず、部品が作れない。いつ入荷するか分からないというひどい状況になっており、当社としては、インターネットを利用したり、あちこちから部品をかき集めて、なんとか足しているが、これが続けば、仕事は全て止まってしまふので、非常に心配である。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注にムラが多く、少量、短納期で、安定した仕事は少ない。それでもなんとか、仕事量は確保できている。	
	輸送用機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・取引先の様子をみても、1～3月は前年と比べ受注量が若干落ち込んでいて、やや悪いようである。4月の各取引先の様子は若干明るい。	
	輸送業（営業担当）	取引先の様子	・年度替わりを前にして、引越依頼や新生活用品、白物家電、家具、インテリアなどは例年並みの物量を確保している。	
	金融業（調査担当）	取引先の様子	・景気は前期からやや改善の動きがみられるものの、足元は横ばいが続いている。米国新政権の政策を見極めるため、企業の慎重な姿勢もうかがえる。	
	不動産業（管理担当）	受注量や販売量の動き	・年度末のスポット的な業務受託も例年どおりで、売上は横ばいである。当初、従業員へ期末手当は出さない予定だったが、退職者が増え、その分の人員補充ができず、結果として人件費が浮いたため、少額ではあるが支給できることになっている。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	受注量や販売量の動き	・文房具店の話では、「3月の年度末には例年まとめ買いをしてくれる企業、団体等があったが、今年は1件だけでほとんどない」とのことである。チラシ出稿量は、前年比94.4%となっている。	
	経営コンサルタント	取引先の様子	・年度替わりで設備投資が控えられ、個人消費も例年並みで、季節特有の需要に落ち着いている。	
	司法書士	受注量や販売量の動き	・少しは良いが、5段階で評価すると、やはり変わらない。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・オーナーが店に出たりと、忙しそうなお店はちらほらあるが、パートやアルバイトが集まらないから出ているとのことで、売上は変わらない。	
	その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・特段変化はみられない。	
	不動産業（経営者）	それ以外	・新築一戸建てやアパートが、道路の整備も追いつかないほど畑や空き地を造成して建てられている。空き家、空き部屋も多く、管理されてない放置物件も多くみられる。	
	×	食料品製造業（製造担当）	受注量や販売量の動き	・販売点数が激減してきている。
	×	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・主要取引先の電話システム部品の受注減が前年から続いており、今期はこうした状況からの回復が見込めない。
	×	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	受注量や販売量の動き	・国内の宝飾品マーケットは冷え込んでいる。展示会でも来場者、購入者は少ない。卸のルート販売も不振で、先が見えない。
	×	建設業（開発担当）	受注量や販売量の動き	・公共工事が売上の95%を占めている建設業である。現政権のもと3年間順調に推移してきた公共工事であったが、今期は様変わりしてしまっている。公共工事発注が前年比96%ではあるものの、市町村発注をみると前年比79%と20%以上も減っている、地方の業者への影響は大きい。当社の受注額も前年比15%減なので、今期決算が大変不安である。
雇用 関連 (北関東)		-	-	
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・道路等の公共事業、一般住宅、事業所等の増改築、新築は増えるようである。ガソリン、灯油等の価格や野菜等の価格が若干上がっているが、求人チラシをみると、小売、サービス、特に、介護職は非常に人手が足りない状況である。	
	職業安定所（職員）	求職者数の動き	・在職中の求職者が増加している。より良い条件を求めて、急がず探している人が多い。企業整理による解雇者は少ない。	

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・月間有効求人数が、7か月連続で前年を上回っているのに対し、月間有効求職者数は、20か月連続で前年を下回っている。2月の新規求人では、建設、運輸、卸小売、医療福祉業で前年を上回っている。
	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・今のところ、あまり忙しくも暇でもなく、状況は変わらない。
	人材派遣会社（管理担当）	求人数の動き	・製造派遣の求人は常にある。時給が低いために応募の悪い状況が変わらず続いている。
	人材派遣会社（営業担当）	周辺企業の様子	・近隣の百貨店やスーパーの客足が鈍い。テナントからの転職や撤退の話が多い。
	求人情報誌製作会社（経営者）	周辺企業の様子	・来年度の新卒採用について、周辺の大、中規模企業では積極的に募集を行っている。年度末の3月は多忙なため、運送、サービス業は求人をして、応募が極端に少なく、人手不足が続いている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は、3か月ぶりに前年同月比で増加に転じたが、その要因はパート求人の増加によるものである。
	学校〔専門学校〕（副校長）	求人数の動き	・事務職の求人を出しても、前年度に比べ応募数が非常に少ない。求職者が減っていると考えられるが、別の意味では、より良い条件の企業を選んでいるようである。
	*	*	*
x	-	-	-